

全国の教育現場への 「話す力」プログラム導入事業 効果検証結果 概要報告

- 2023年2月15日
- 一般社団法人アルバ・エデュ
- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

目次

1. 調査概要

① 調査設計

② 調査対象・方法

2. 実験条件・対照条件の比較

3. プレゼンテーションに対する意識の変化

① プレゼンテーションの重要性

② プレゼンテーションの難しさ

③ プレゼンテーションの楽しさ・自信

4. 自己効力感の変化

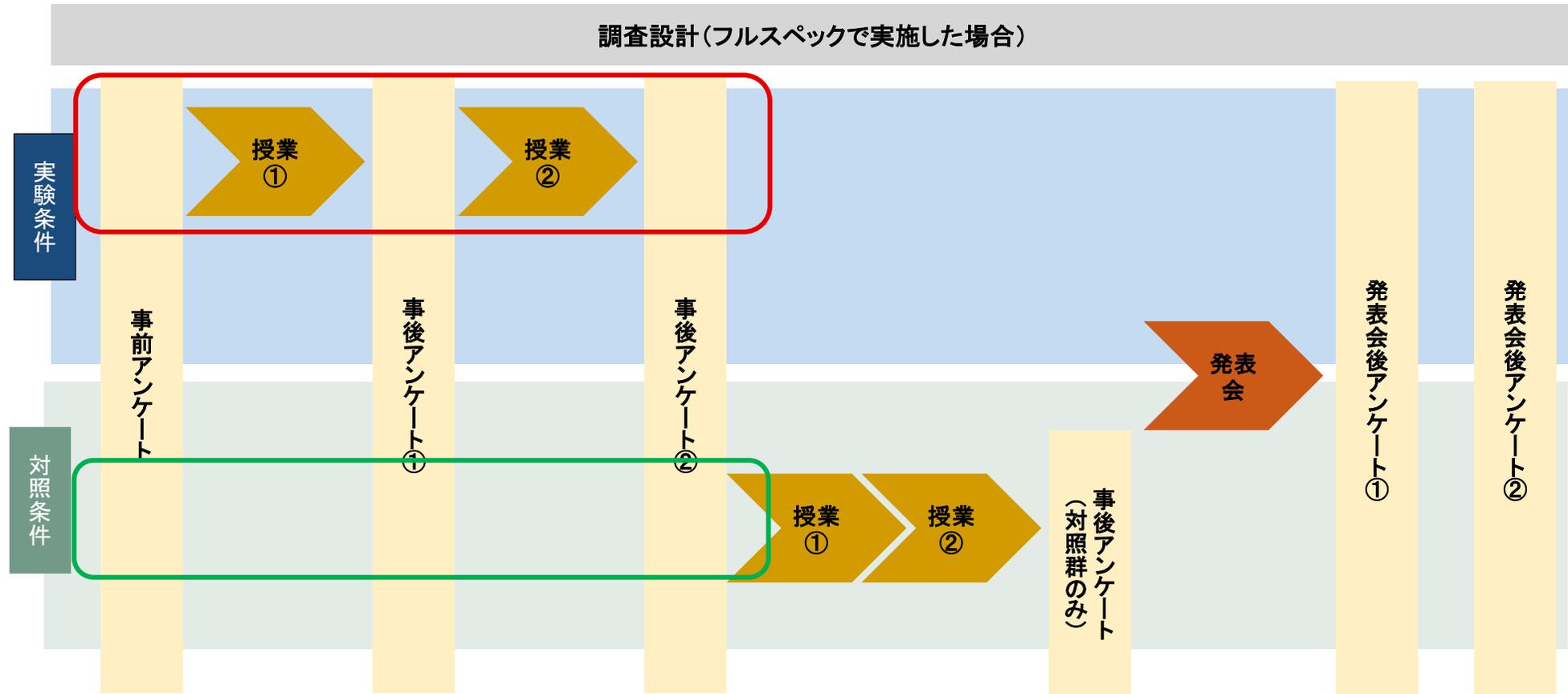
5. クラスにおける心理的安全性の変化

6. 発表会で実践できたこと

7. 調査結果のまとめ

1. 調査概要 ①調査設計

- 調査設計は下図のとおり。ただし、参加校によってモデル授業の実施回数や実験条件・対照条件の設定状況は異なる
- プログラムの効果が比較できるよう、授業の実施前及び授業終了後、発表会終了後にそれぞれ同一の内容のアンケートを実施(発表会後は別途項目を追加)
- 本報告では、2回のモデル授業を受講した者(下図赤枠)と、受講せずにアンケートのみ実施した者(下図緑枠)の比較(実験条件と対照条件の比較)、および授業を受けた者の中での時系列変化を検討



1. 調査概要 ②調査対象・方法

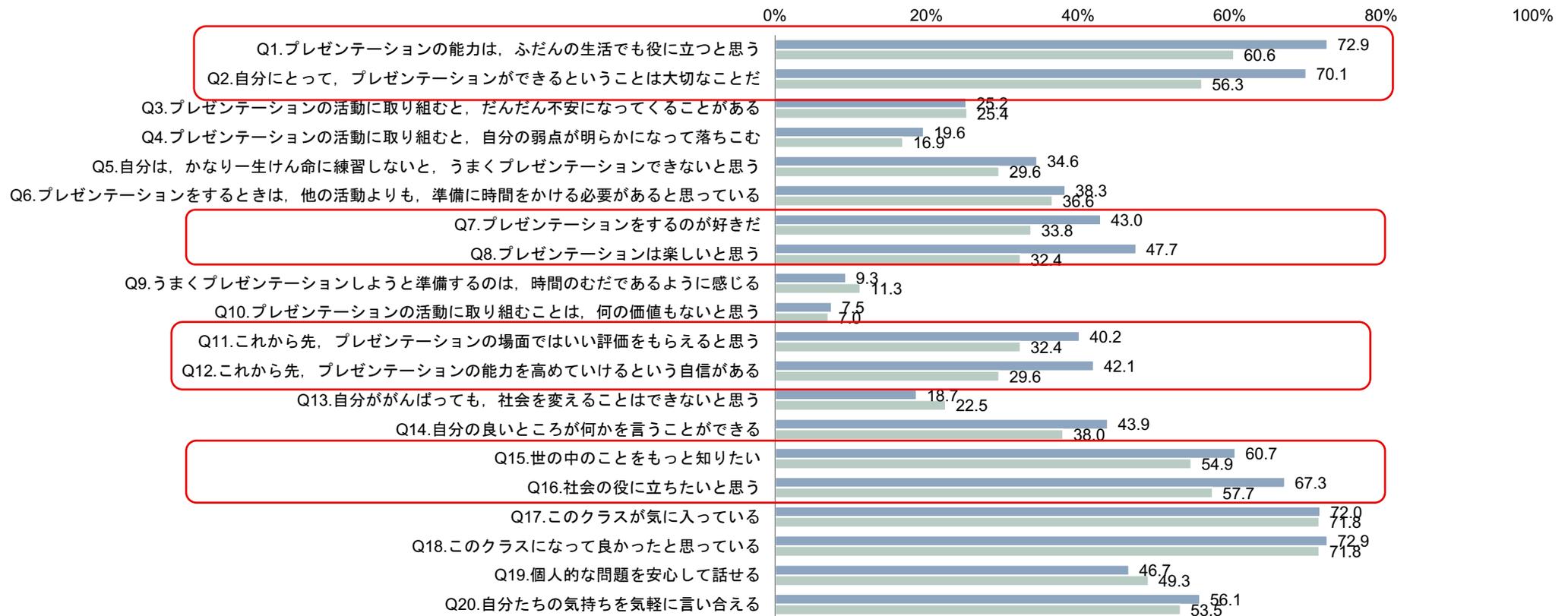
- 各学校ごとの実施調査、回答児童・生徒数、実施時期は以下のとおり
- Googleフォームを用いて、各児童・生徒のタブレット等から回答
- 調査に回答した児童・生徒数は合計626名
- 集計の際は、各タイミングでのアンケートにすべて回答している者のみを有効回答とした

	学校名	実施調査	回答児童・生徒数	実施時期
1	江戸川区立瑞江第二中学校	事後①、事後②、発表会①	119	2022年4月、9月、10月
2	福井市立円山小学校	事前、事後①、事後②(3組のみ)、発表会①(3組のみ)	84	2022年6月、12月
3	御代田町立御代田南小学校	事前、事後①、事後②(2組のみ)、発表会①(2組のみ)	90	2022年6月、9月、10月
4	富山市立山室小学校	事前、事後①、事後②(3組のみ)、発表会①	71	2022年7月、10月、 2023年1月
5	金沢市立城南中学校	事前、事後①、事後②(2組のみ)	84	2022年10月、11月
6	文京区立第六中学校	事前、事後①、事後②、発表会①、発表会② ※実験条件・対照条件設定	106	2022年6月、7月、9月、 11月
7	鶴ヶ島市立南中学校	事前、事後①、事後② ※実験条件・対照条件設定	72	2022年9月
		合計	626	

2. 実験条件・対照条件の比較

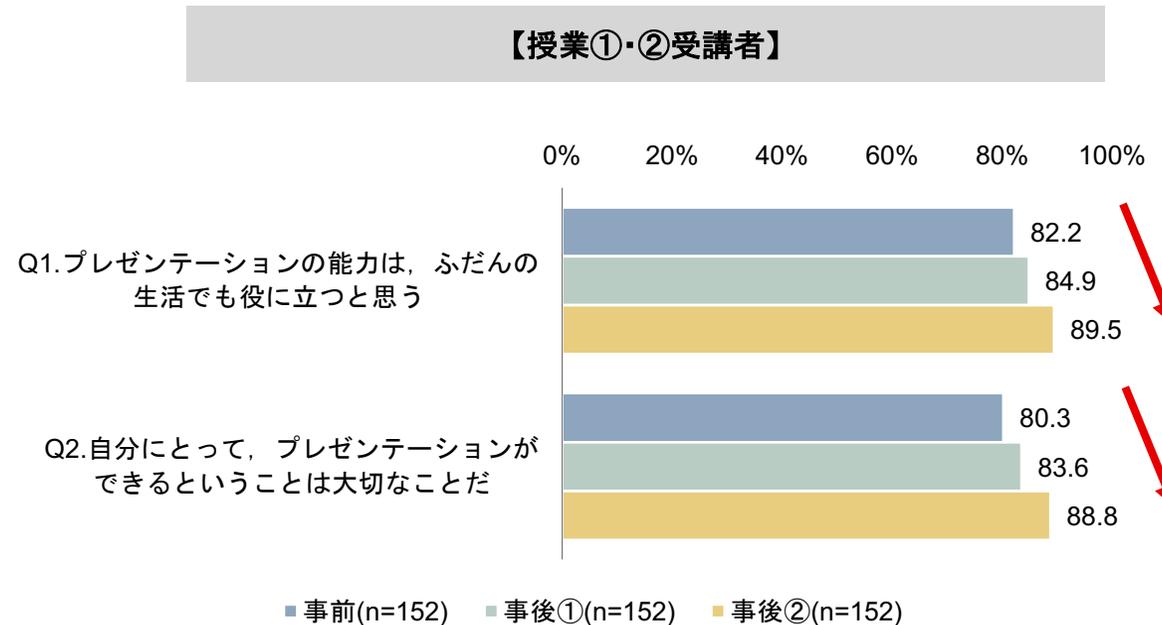
- 以下では、モデル授業を2回経験した実験群107名と、いずれも受けていない対照群71名に対して実施したアンケート結果を比較した
- 対照群に比べて実験群において、**プレゼンテーションの重要性に対する認識やプレゼンテーションへのポジティブな感情、プレゼンテーションに対する自信、世の中を知りたい、社会の役に立ちたいという思いが上昇している**

実験条件・対照条件：事後①の比較



3. プレゼンテーションに対する意識の変化 ①プレゼンテーションの重要性

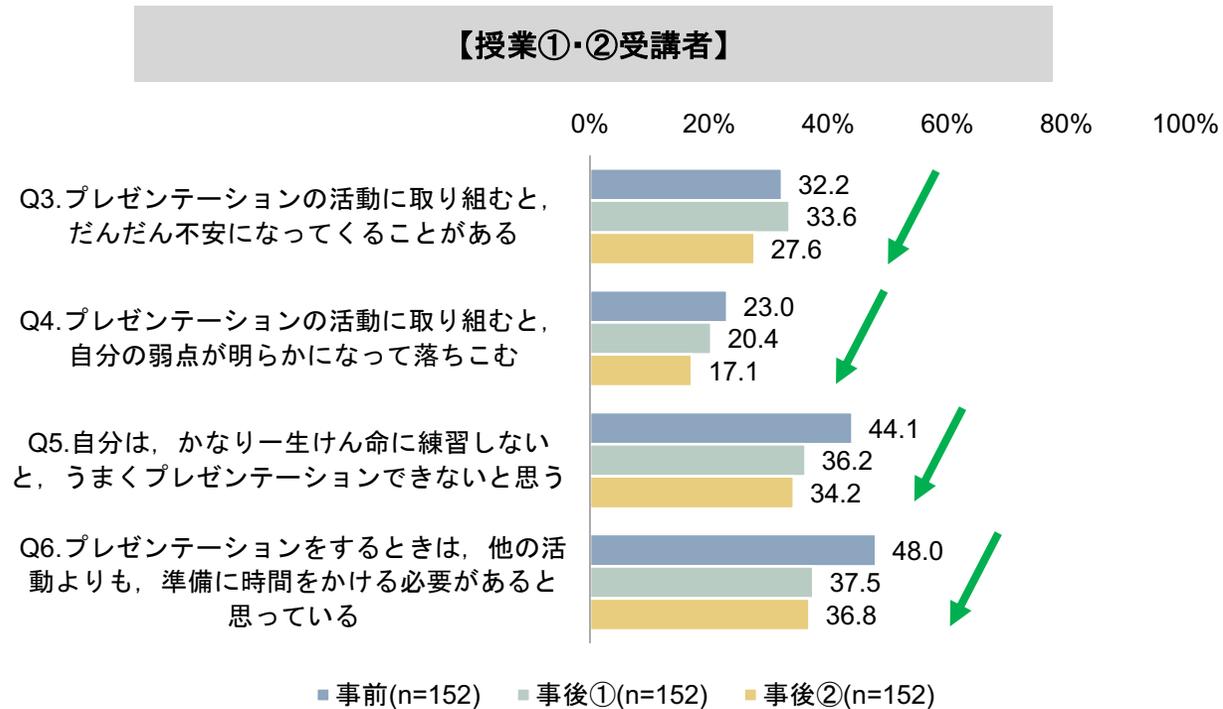
- 授業①・②の受講者の状況を見ると、授業の回数を重ねるごとに、**プレゼンテーションの重要性に対する意識が高まっている**



※「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計

3. プレゼンテーションに対する意識の変化 ②プレゼンテーションの難しさ

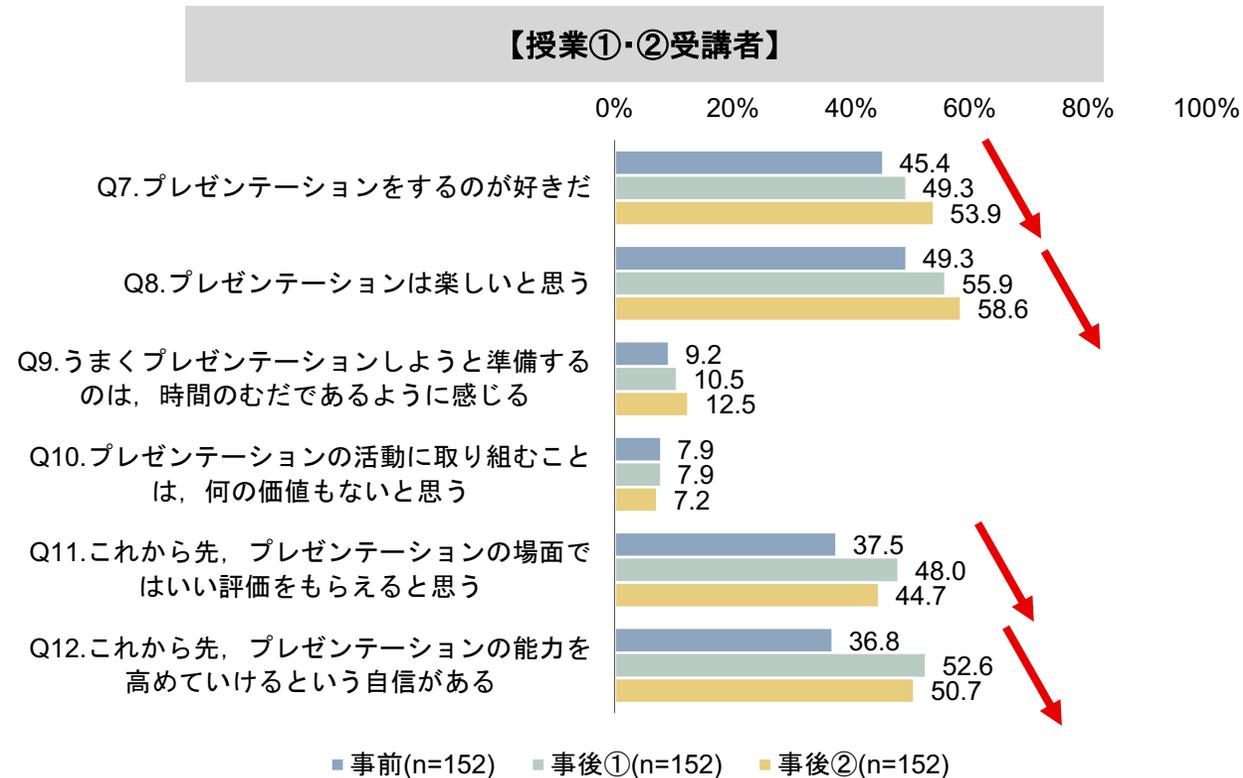
- 授業①・②の受講者の状況を見ると、授業の回数を重ねるごとに、**プレゼンテーションへの不安や苦手意識が低下している**



※「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計

3. プレゼンテーションに対する意識の変化 ③プレゼンテーションの楽しさ・自信

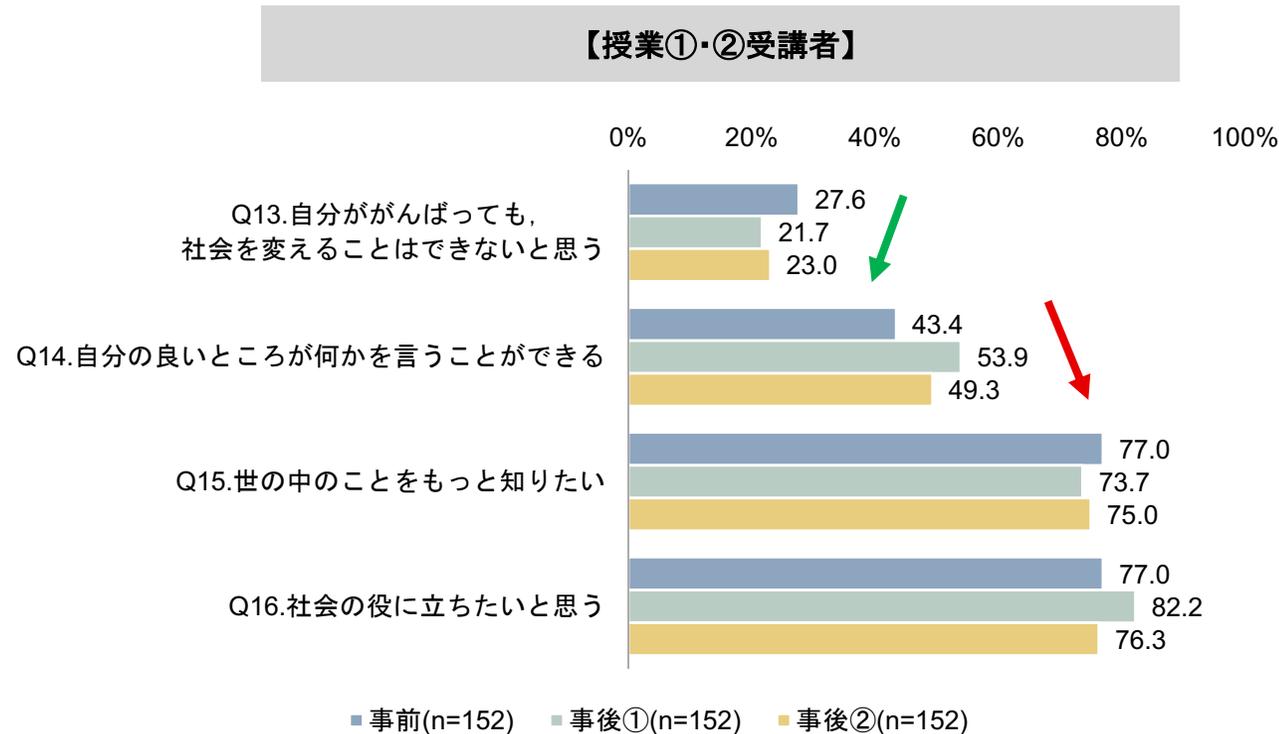
- 授業①・②の受講者の状況を見ると、授業を通じて、**プレゼンテーションの楽しさや自信を感じる割合が増加している**
- また、授業の受講を通じて、「これから先、プレゼンテーションの場面ではいい評価をもらえると思う」「プレゼンテーションの能力を上げていけるという自信がある」といった**プレゼンテーションに対する自信が高まっている**



※「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計

4. 自己効力感の変化

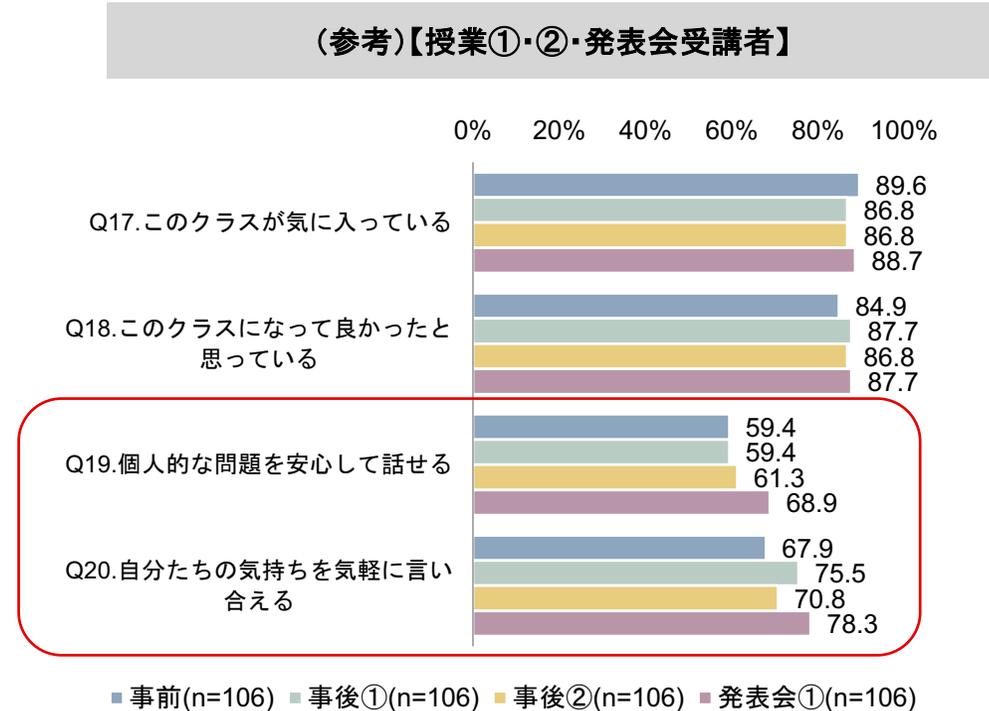
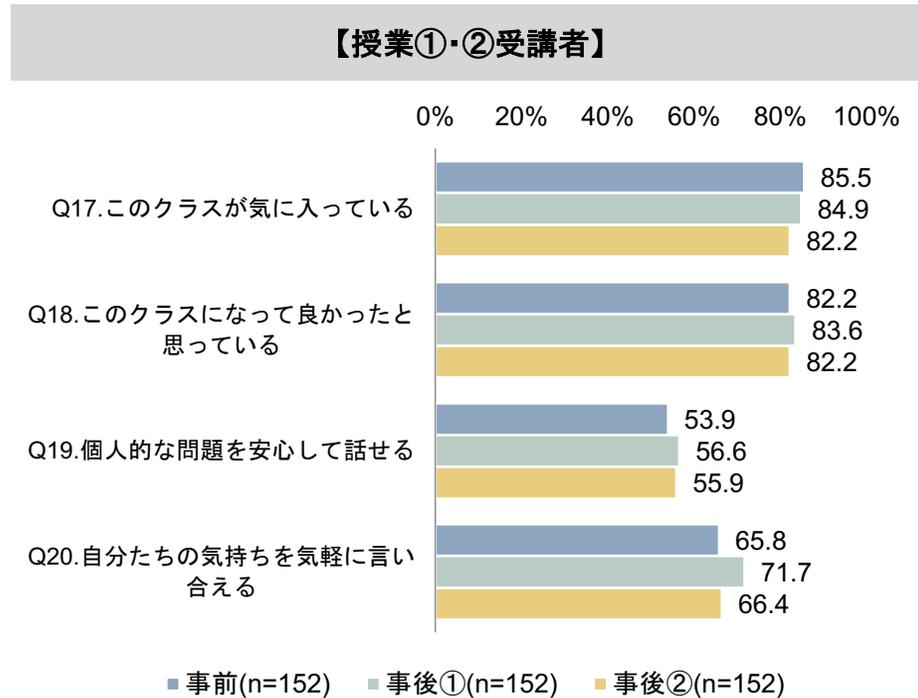
- 授業①・②の受講者の状況を見ると、授業を受けることで、「自分の良いところがある何かを言うことができる」と回答する割合が増加している
⇒ 授業の受講を通じて、自己効力感が高まっている
- 事前に比べ、事後①で「自分がかんばっても社会を変えることはできないと思う」と回答する割合が低下している
⇒ 1回目の授業で、「社会を変えられる」というメッセージを強く伝えていることによる効果が出ている



※「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計

5. クラスにおける心理的安全性の変化

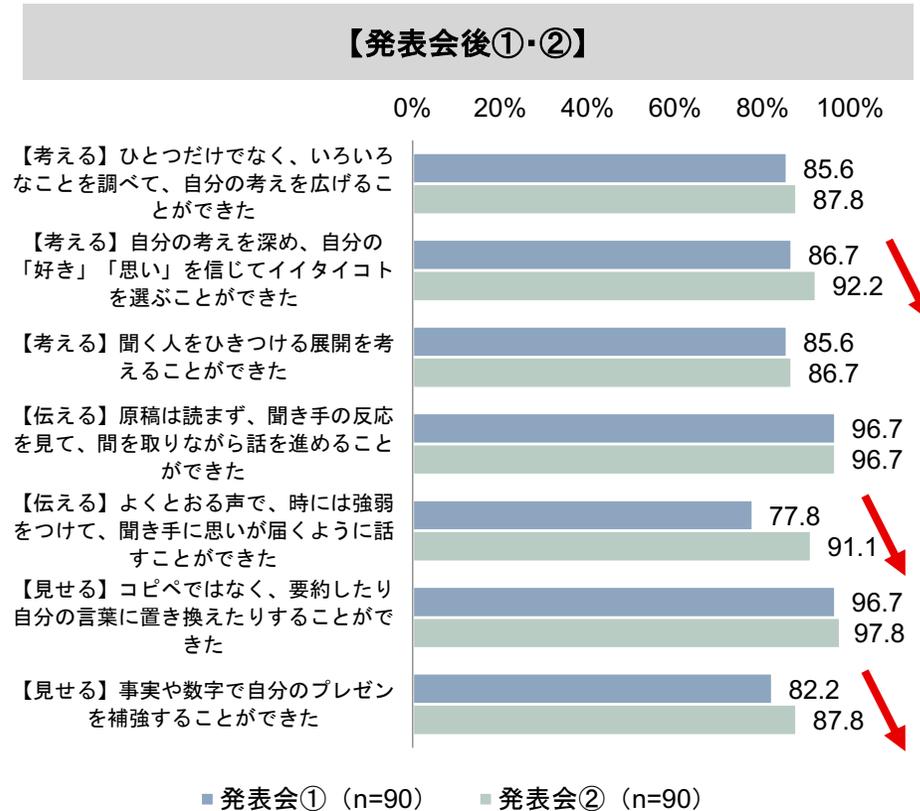
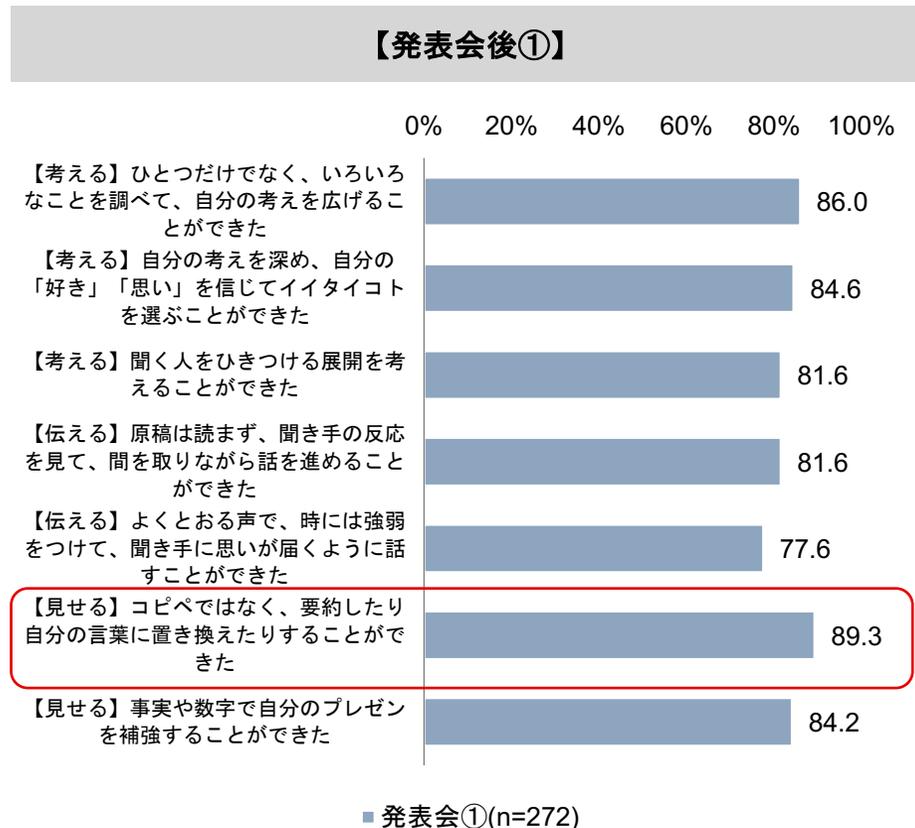
- 授業①・②の受講者の状況を見ると、クラスに対する好感度・心理的安全性については、いずれも大きな変化はない
- 発表会を経験することで、話すことに関する**心理的安全性**は向上
- ⇒ 時間の経過に伴いクラス内の関係性が変化したことの影響も考慮する必要があるが、クラスへの好感度はそれほど変化が見られないことから、**発表会を通じた自己開示の経験が、心理的安全性を高めている可能性あり**
- ⇒ ただし、学校によって発表会の実践内容は異なることから、解釈には留意が必要



※「そう思う」「まあそう思う」の合計

6. 発表会で実践できたこと

- 発表会の後に実施したアンケート結果(発表会①)をみると、「【見せる】コピペではなく、要約したり自分の言葉に置き換えたりすることができた」について、「できた」「まあまあできた」と回答した割合が約9割と最も高くなっている
 - 発表会①のあとにもう一度アンケート(発表会②)を実施した結果をみると、「【考える】自分の考えを深め、自分の「好き」「思い」を信じてイタイコトを選ぶことができた」「【伝える】よくとおる声で、時には強弱をつけて、聞き手に思いが届くように話すことができた」「【見せる】事実や数字で自分のプレゼンを補強することができた」と回答する割合が上昇
- ⇒ **発表会の経験を通じて、プレゼンテーションのスキルが着実に身につけている**



7. 調査結果のまとめ

プレゼンテーションに対する意識の変化

- 授業を通じてプレゼンテーションに対する重要性の認識や楽しさ・自信が高まるとともに、不安や苦手意識が低下
- ⇒ 授業の受講を通じて、プレゼンテーションに対する前向きな意欲が高まっている

自己効力感の変化

- 授業を受けることで、「自分のいいところを何かを言うことができる」とする割合が増加
 - 実験群・対照群の比較では、授業を受けることを通じて、世の中を知りたい、社会の役に立ちたいという思いが上昇している
- ⇒ 授業の受講を通じて、自己効力感や社会に対する好奇心・貢献意欲が高まっている

クラスに対する心理的安全性の変化

- 授業の受講に加え、発表会を経験することで、「個人的な問題を安心して話せる」「自分たちの気持ちを気軽に言い合える」とする割合が上昇
- ⇒ 実際に発表会でプレゼンテーションをすることにより自己開示が進み、クラスの心理的安全性が高まる可能性あり



国立大学法人

福岡教育大学

University of Teacher Education Fukuoka

児童・生徒の自由記述・授業参観から指摘できること

2023. 2. 15

福岡教育大学 山元 悦子

円山小学校5年生 授業後の感想（自由記述）

プレゼンのスキル

- 1 プレゼンをするときは短くまとめて写真も程々に載せる。
- 2 私は、この授業で原稿を書かなくてもいいということがわかりました。
- 3 ヒアリングマップを作るために相手に聞いたり話したりして、さらに身についたのでよかったです。

自分に対する意識

- 4 プレゼンテーションで自分の思う事をはっきりと友達に伝えることができたのでよかったです。この力を開花させてもしも社会の為に役立ったら自分もそのみんなも嬉しい気持ちになったら良いなと思っています。
- 5 私は、自分の力で社会を良い方向にしていきたいと思いました。

円山小学校5年生 授業後の感想（自由記述）

プレゼンテーションに関する認識

- 1 ぼくは、プレゼンの授業で**自分が主役**ということを知りました。
- 2 ぼくは話すことで世界を変えられるとを知りました。話すことでみんなが納得してくれたりみんなが手伝ってくれたりしてくれます。みんなの協力を得て世界を変えていきなないとぼくは思いました。自分の好きなことをみんなに伝えられるといいと思いました。みんなにぼくの好きなことをわかってほしいです。
- 3 色々な人にプレゼンテーションを通して世界のことを知ってもらって、世界のいろいろな問題を解決する説得や、賛成をしてもらえるといいなと思いました。



第六中学校 授業後の感想（自由記述）

プレゼンのスキル

- 1 プレゼンテーションをするときは、大きな声で一方向的に話すのではなく聞いている相手が理解しているか確かめることが大事だと思いました。
- 2 プレゼンテーションをするときのコツがわかりました。発表するときにもものを詰め込みすぎたり、一人でしゃべったりしないで、自分の言いたいことについて話し、相手も見ながらできるようになっていきたいです。

自分に対する認識

- 3 これからは考える、伝える、見せる、この三つを意識してプレゼンをしたいと思いました。自分は、発表すると頭痛がしてしまうことが時々あるのですがこの授業を受けて自分に自信がついたと思えました！貴重な時間を頂きありがとうございました。今後に生かしたいです。あなたならできる！！
- 4 今日この授業をしてもらって自分は社会の役に立てるようにしていきたいと思った。
- 5 自分の力でも、プレゼンを通して世の中のためになることができる。



プレゼンテーションに関する認識

- 1 今回の授業を受けて、プレゼンを極めることによって得られる力というのは、**社会を変える原動力**にもつながるということが分かった。また、プレゼンをする上で、**考える力・伝える力・見せる力**は必要不可欠であり、大切にしていっていきべきものであるということに気づいた。次回はぜひ、プレゼンテーションのスライドの効果的な作り方も学びたい。
- 2 とても楽しかった。プレゼンテーションがどれくらい大切なのか分かった。プレゼンテーションをすることにより、**自分の気持ちを自由に伝えられたり、世界を変えられたり、人の命を救うことができる**と知った。プレゼンテーション能力向上プロジェクトの授業を受けられてよかった。本当にありがとうございました!!

コミュニケーションに関する感想

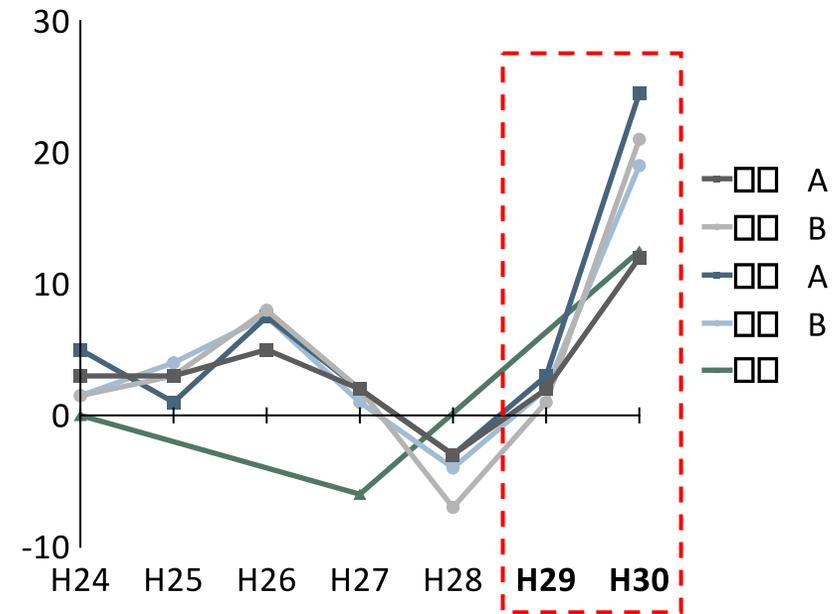
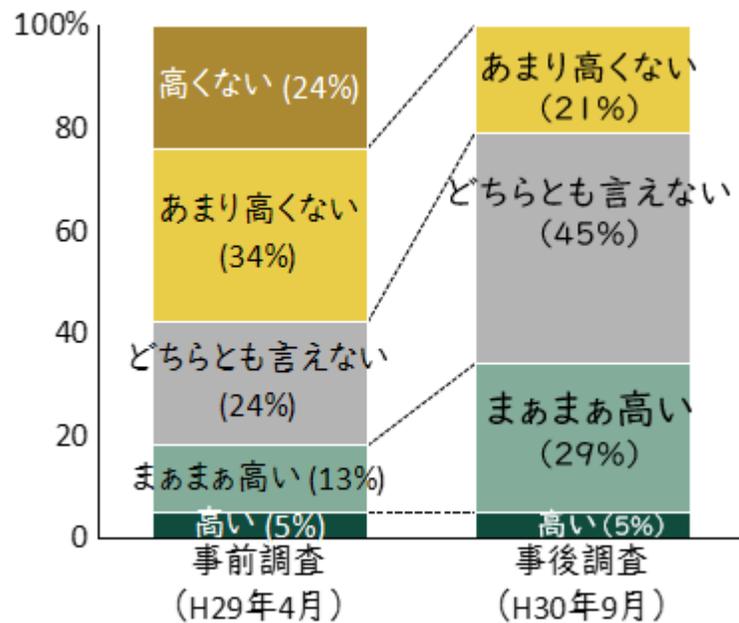
- 3 ヒアリングマップを書いたときに自分でもある程度書いていて、もうこれ以上思い当たることはないかな、と思っていたんですけど、**いざ質問されるともっともっと思いついてきて、アルバ・エデュの授業でも実際に言っていた「アドリブ」**っていうものが沢山入ってきてとても面白かったです。
- 4 プレゼンすることの**楽しさ**や**大切さ**がものすごくわかりました。これから頑張って発言したりしたいと思います。**あまりお話できなかった子**と自分の好きなことでお話をすることができました。



一般教科の学力・意欲の向上を立証

プレゼンテーション能力・自信

一般教科の学力全般



出所:文京区文林中学校成果

公立中の2年間の授業実施の結果

推薦入試の結果

高校推薦合格 10名未満 → **24名**
合格率12% → **47%**

「プレゼン授業は面接入試に役立ちましたか？」
回答した**26**人中**25**人が**役に立った**

- 2020年夏～ 計4回の「教員研修」
- 2021年4月～ 全校生徒（約430名）へ「プレゼン授業」



「プレゼンって凄く面白くて、ワクワクするなと思った。」

「今まで自分の苦手だったプレゼンが楽しくなった。これからは学んだことをしっかり使って、人に言いたいことを言えるようにしたい。」

「プレゼンテーションは難しいと思っていたけれど、この授業で、プレゼンのコツや発音を良くする練習を教えてもらったので、これからはいかしていきたい。」

「自分の考えを『深める』作業をすると、こんなにも生き生きと発表するようになるのかと実感しました。」

「児童たちがもっと自分の考えで話し、自分の言葉を友達に伝えることができれば、プレゼンが『恥ずかしくて苦手なもの』から『楽しくてワクワクするもの』にかわっていくと感じました。」

「授業だけでなく教員研修もセットである点が非常に魅力的で、いわゆるプレゼンスキルにとどまらないプログラムのため、子どもたちの自信につながる。」





このページは投影なし

さいたま市プログラム導入先の校長より

・非常に即効性の高い教育プログラムと感じています。スキル指導も非常に洗練されており、それに加えて、内面をあたため、表現しよう、社会を変えていこうという意欲を高めていくところに強くひかれています。本プログラム自体が社会課題の解決を目指しており、プログラムの建付けと内容が入れ子構造になっていることと大きな関係があるように思います。ぜひ「すべての子どもに」にこだわり続けてください。本校の6年生が大変お世話になりました。ありがとうございました。

学年主任より

・自分の伝えたい気持ちを大切にすることが一番本校6年生の実態に合っていると感じました。形式的なことや、他人がまとめた文章ではなく、自分の言葉を考えるということが発表の熱量に関係すると感じています。児童たちがもっと自分の考えで話し、自分の言葉を友達に伝えることができれば、プレゼンが「恥ずかしくて苦手なもの」から「楽しくてワクワクするもの」にかわっていくと感じました。お忙しい中、6年生の授業を行っていただき、ありがとうございました。

文京区：子どもたち・保護者・教員の声



子どもたち

人見知りだった自分が、高校ですぐに友達ができた

英語のスピーチ大会で賞をとりました！

別人のように声が大きくなりました

学校公開で手を挙げているのを初めて見ました 感動です

一度も手を挙げたことがなかった子が何度も手を挙げた

一度の授業でこんなに変わるものなのか 驚いた



保護者



教員